

様式 1 (G-MIS様式)

事業報告書			
医療法人番号		0002244	
報告期間		令和3年8月1日	
		令和4年7月31日	
1 事業報告書の概要			
(1) 名称	医療法人興の本会	分類①から③のそれぞれの項目（③は社団のみ。）について、該当するものをリストから選択すること。（会計年度内に変更があった場合は変更後。） 複数の事業所を有する場合は、主たる事業所と従たる事業所を記載すること。	
分類①			
分類②			
分類③			
(2) 事業所の所在地	岐阜県 市区町村 可児市 町名・番地 川合2340番地1 建物名		
(3) 設立認可年月日	平成14年3月1日		
(4) 設立登記年月日	平成14年3月25日		
(5) 理事長の氏名	姓 興 名 尚志		
役員及び評議員の人数			
役員及び評議員	記載はこちら		
2 事業の概要			
(1-1) 本会業務（病院、診療所）	記載はこちら		
(1-2) 本会業務（介護老人保健施設、介護医療院）	記載はこちら		
(2) 附帯業務	記載はこちら		
(3) 収益業務	記載はこちら		
(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項	記載はこちら		
(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債	記載はこちら	(5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。	
(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債	記載はこちら		
(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設	記載はこちら		
(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容	記載はこちら	全ての指定内容について記載しても差し支えない。	
(9) その他	記載はこちら	当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。（任意）	

事業報告書

1-(5) 役員及び評議員

[illegible]

- 注) 1. 「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。
2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の管理者であることを記載すること。（医療法第46条の5第6項参照）
3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。（医療法第46条の4第1項参照）

事業報告書

2-(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

日付	議決又は同意した事項
令和3年9月22日	令和2年度決算の決定
令和3年11月24日	理事追加の件
令和4年7月28日	令和4年度事業計画及び予算の決定

注) 2-(5)、2-(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

2-(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

[illegible]

(注) 医療機関債の発行総額、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及び期日を記載すること。なお、発行要綱の写しの添付に代えても差し支えない。
医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

2-(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

医療機関間の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由

[illegible]

(注)

1. 医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。

2. 購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入金額及び償還期間を記載すること。なお、契約書又は債権証券の写しの添付に代えても差し支えない。

2-(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

日付	開股（許可を含む）した主要な施設
----	------------------

2-(6) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容	
日付	他の法律、通知等において指定された内容

[illegible]

注) 全ての指定内容について記載しても差し支えない。

2-(9) その他

[illegible]

注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。(任意)

様式 2

法人名 医療法人梶の木会

※医療法人整理番号

所在地 岐阜県可児市川合 2 3 4 0 番地の 1

財 産 目 録
(令和 4 年 7 月 3 1 日現在)

1. 資 産 額	369,837 千円
2. 負 債 額	97,293 千円
3. 純 資 産 額	272,544 千円

(内 訳)	(単位：千円)
区 分	金 額
A 流 動 資 産	284,235
B 固 定 資 産	85,602
C 資 産 合 計 (A + B)	369,837
D 負 債 合 計	97,293
E 純 資 産 (C - D)	272,544

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (☐ 法人所有 ☒ 賃借 ☐ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

建 物 (☐ 法人所有 ☒ 賃借 ☐ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

法人名 医療法人梶の木会

※医療法人整理番号

所在地 岐阜県可児市川合 2 3 4 0 番地の 1

貸借対照表
令和4年7月31日 現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	284,235	I 流動負債	46,466
II 固定資産	85,602	II 固定負債	50,827
1 有形固定資産	36,776	(うち医療機関債)	(0)
2 無形固定資産	3,822	負債合計	97,293
3 その他の資産	45,004	純資産の部	
(うち保有医療機関債)	(0)	科目	金額
		I 出資金	9,000
		II 積立金	263,544
		(うち代替基金)	
		III 評価・換算差額等	
		純資産合計	272,544
資産合計	369,837	負債・純資産合計	369,837

(注) 1. 表中の勘定科目については、変更しないこと。

法人名 医療法人 梶の木会
所在地 岐阜県可児市川合2340番地の1

医療法人番号	
--------	--

損 益 計 算 書
自 令和3年8月1日 至 令和4年7月31日

(単位：千円)

科目		金 額	
I 事業損益			
A 本来業務事業損益			
1 事業収益			494,396
2 事業費用			475,123
本来業務事業利益			19,273
B 附帯業務事業損益			
1 事業収益			
2 事業費用			
附帯業務事業利益			0
事業利益			19,273
II 事業外収益			17,930
III 事業外費用			112
経常利益			37,091
IV 特別利益			1,299
V 特別損失			
税引前当期純利益			38,390
法人税等			10,630
当期純利益			27,760

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること（自動表示）。
2. 表中の勘定科目については、変更しないこと。

様式6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人梶の木会

理事長 梶 尚志 殿

私（注1）は、医療法人梶の木会の令和3会計年度（令和3年8月1日から令和4年7月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書（注2）の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和4年9月23日

医療法人梶の木会

監事 林 秀樹

（注1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注2）関係事業者との取引がある医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書」とし、社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。